



こんにちは

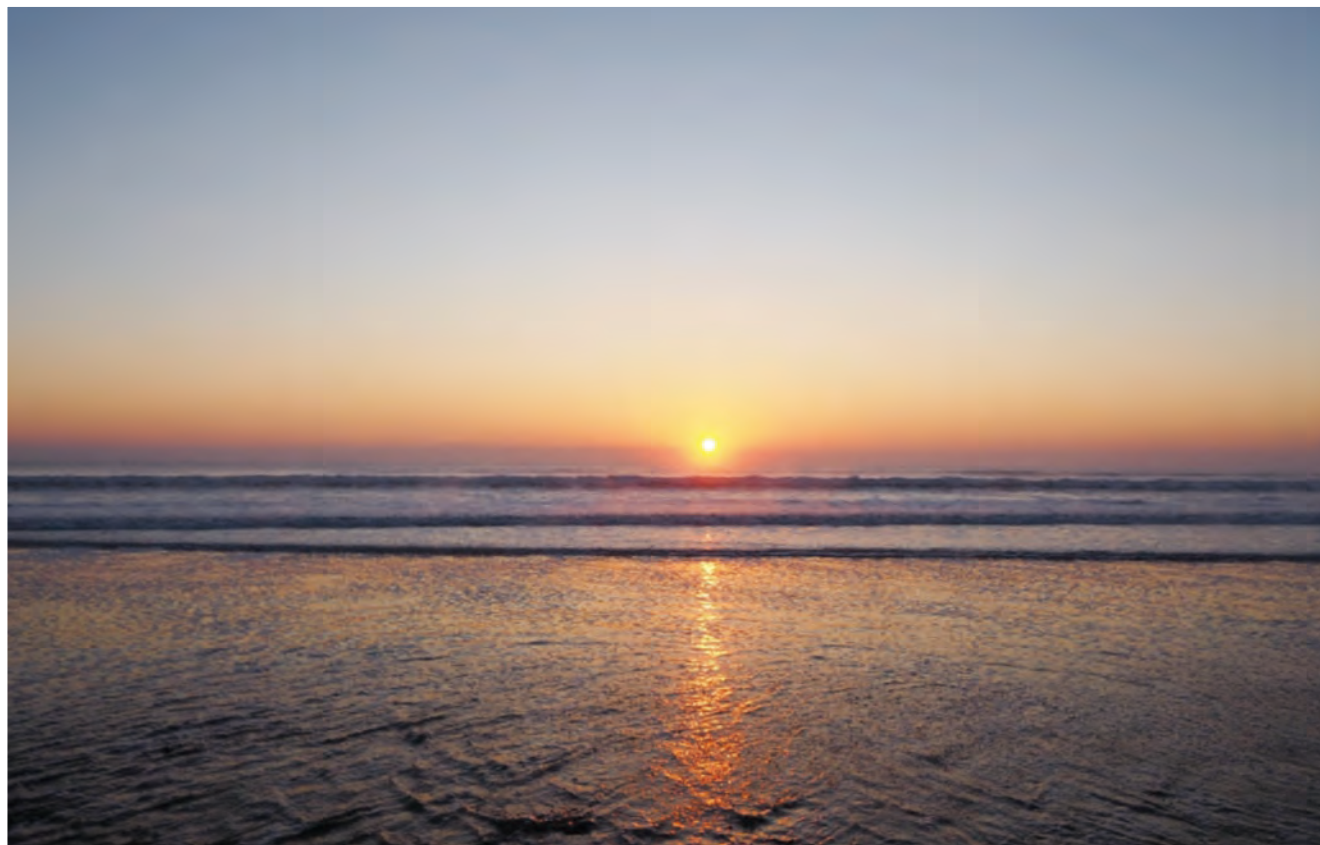
白子の議会

です

第127号

平成30年2月15日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 古所海岸から臨む初日の出

第4回 定 例 会

平成29年第4回定例会が12月13日と15日に開催されました。
一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 5議員が一般質問…………… 2～6ページ
- 条例の制定・補正予算等の質疑応答… 7～8ページ

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は3月7～13日の予定です

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

クリーンセンター維持管理について

宗島 理仁 議員

議員 第1クリーンセンターは供用開始から既に25年が経過し、老朽化が懸念されていますが、パイプラインも含め、施設の維持管理や補修など、今後必要になると思われる経費の試算などについて、まだに行うか、見解を伺います。

長寿命化を図るために



町長 修繕リストを出し、計画的に修繕は進めています。

また、ストックマネジメント要綱を用いた長期的な修繕改修計画をなるべく早く作成し、施設の長寿命化を図っていきたいと思っています。

コミュニティ・プラントの経費について

議員 28年度決算でクリーンセンター維持管理事業に約9千6百万円と多額の経費がかかっており、クリーンセンターを建設した当初から改善されず、接続率の推移を見ても、平成21年度から加入者が微増であり、改善はされていません。

このような状況を改善するため、経費削減方法をどのように考えているのか、また、接続率の促進について、どのような努力をしていくのか見解を伺います。

高いハードルの中で

町長 訪問し、啓発に努めながら加入率の促進は引き続きしていく予定です。

あります。
しかしながら、場合によっては使用料の値上げを考えざるを得ない状況であります。



庁舎の耐震化について

議員 11月21日の千葉日報の1面に、県内の耐震化されていない本庁舎が12市町あり、我が白子町もそのうちの1つに入っていました。

防災拠点となる庁舎は、一般的な建物よりもさらに強く設計することが望まれるかと思えますが、庁舎の耐震化、もしくは建てかえのための検討はどのような状況なのか伺います。

緊急度の高いものから

町長 役場の庁舎は、経年劣化、老朽化が進行しています。

災害時、役場の放送施設等が被災した場合は対応できるようになり、一歩前進しました。

また、基金を設置したので、将来的には庁舎の建て替えを考えています。

地域防災計画について

議員 地域防災計画の修正について、現在までの進捗状況を伺います。

また、概要版の作成もするとのことでしたが、進んでいるのか伺います。

協議・調整を重ねている

町長 地域防災計画は、修正をし、現在は素案作成の段階になっています。分かりやすい概要版も同時に作成をし、広く周知に努めます。



地域の安心安全な生活環境の確保について

東海林 東治 議員

議員 地域ごとに危険要因の把握と防災情報の取り組みが必要と思います。空き家が増え、防犯、防災に関する点、高齢者、要介護者、障害者等々に対する避難行動要支援者やボランティアの育成、通学時の安全確保について、どう関係機関と連携強化を図るのか伺います。

町長 地域ごとの危険要因を、町で全て把握するのは困難であります。地域目線の情報収集が大事で自治会長からの要望を基本にしております。また、職員で担当自治区の危険個所の点検等を行っております。

地域ごとの議論

議員 移住定住促進を図るには、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりが必要です。地域の安心、安全な防災体制や防犯体制の強化を掲げながら、空き家が増えている分譲地内の防犯灯整備がなされておられません。

町長 電球交換が素人には出来ず、専用車を頼むと大変な費用負担となっております。LEDリース化に伴い経費節減をして、防犯灯整備の充実を図るとの趣旨が見えませんが、住民が安心、安全な地域で自立した暮らしができるような支援の充実が定住対策と思えますが、当局の見解を伺います。



分譲地内の防犯灯整備について

町長 現在町で管理しております防犯灯は、全てLEDに交換いたしました。公道を主に100m以上の間隔で設置しております。分譲地内の防犯灯の整備、確かに櫛の歯が抜けたような形で分譲地の空き家も増えており問題のある事を承知しております。しかしながら、公道の要件に該当しない為難しい状況です。

町長 地籍調査をやりますと赤道、青道部分が明確になり、無番地の土地が公図上に出てきます。道路として使用している所、赤道に建物が建っている所、敷状態の所等々実態は様々であります。交換、払い下げも行っておりますが、現状、慣例は法律より上まわると言う事も了解頂きたいと思えます。

意見集約と課題の検討
町長 現在町で管理しております防犯灯は、全てLEDに交換いたしました。公道を主に100m以上の間隔で設置しております。分譲地内の防犯灯の整備、確かに櫛の歯が抜けたような形で分譲地の空き家も増えており問題のある事を承知しております。しかしながら、公道の要件に該当しない為難しい状況です。

公共財産の掌握と活用について

議員 道路は、国道・県道・林道と分類し、旧道路法が公布され、重要な所は市町村道と認定され現在の赤道が取り残された訳ですが、維持、修繕の機能的な管理は所在する市町村で行い、所有権

が市町村に無償譲渡されました。無断占有者に対する対処及び今後の維持管理について伺います。

ケースバイケースで対処

町長 地籍調査をやりますと赤道、青道部分が明確になり、無番地の土地が公図上に出てきます。道路として使用している所、赤道に建物が建っている所、敷状態の所等々実態は様々であります。交換、払い下げも行っておりますが、現状、慣例は法律より上まわると言う事も了解頂きたいと思えます。

経費削減策の自治体クラウド導入は

議員 情報システム費用の削減化の自治体クラウド導入であります。本町も、業務クラウドを導入して5年経過します。周辺市町村も更新時期の5年を迎える時に自

治体クラウド導入を立ち上げ、業務に使う情報システムを他の自治体と共同で民間データセンターにおいて利用する仕組みによって費用が大幅に削減できるはずですが、総務省が導入に経費の補助を推進しております。住民票や税、国民健康保険税などの情報システムの共同運用であります。更新時期に積極的に周辺市町村に働きかけ、検討を図る必要性を求め本町の方針を伺います。

郡内市町村の意見交換が必要

町長 本町は平成25年度独自のクラウド化しました。それ以前より管理費が30%以上削減されております。郡内で自治体クラウド導入を検討致しましたが、結論が出ず、今に至っております。今後、更に共同自治体クラウド導入に意見交換が出来ればと思っております。

白子町の介護施設の現状について

石井 和芳 議員

議員 介護施設には、特養、老健、グループホーム、サ高住等があり、これらのベッド数において白子町は長生郡市で最下位になっています。

茂原市666床、睦沢町222床、長柄町225床、長南町207床、長生村146床、一宮町150床、白子町97床、と他の市町村からみて劣後しています。町の介護関係者やケアマネージャー等の意見を聞いても、施設が不足しているとの意見が大勢であります。白子町では特養に入れる有資格者の要介護度3以上の方の人数は316名おります。今後当町の介護施策をどう進めて行くか、伺います。



町民の意見と要望を踏まえ整備をする

町長 確かに町内のベッド数は少ないが、町民が町内の施設に全て入所するとは限りません。入所ラインを要介護度3で引かれており、施設入所されている比率は50%（約160名）で、町内の施設には62名が入所しており、他は町外の施設に入所しています。29年度・30年度で郡内で3施設200床が出来たので、待機者の減少が期待できます。

また、施設の誘致には、抑制していたわけでもないのですが、進出したい法人があれば、検討します。

介護施設の充実による住みよい町づくり

議員 市町村の住みよさ

ランキングでは、一位が地方税収の高い地域、二位が介護保険施設の充実している地域となっております。人口減少をくい止める意味からも、介護施設の充実を図って頂きたい。

地方創生の空き家対策は如何に

議員 6月の一般質問でもお聞きしましたが、空き家バンク登録等の諸施策はその後どこまで進歩したかお伺いします。



空き家対策は町の定住化促進には役に立たず

町長 空き家調査に500万円というお金をかけました。その後の対応が遅れているのは認めますが、現実問題として、使えないような家ばかりです。

倒壊の恐れのある空き家対策は

議員 倒壊の恐れのある危険度の高い空き家を条例の制定により行政執行が出来るようにするつもりがあるか、伺います。

地域の状況を見ながら効果ある条例をつくってゆく

町長 効果が上がるかどうか別として、これもよその地域の状況をもう少し勉強しながら、進めて行きたいと思えます。

地方創生の取り組みについて

議員 加速化交付金だけでも6千1百万円の資金を使い、数々の施策を実行していますが、その企画段階からNTT等に依頼し、その実行段階でも殆ど業者に丸投げに近い状態です。「これだけの資金が投入されればこれだけの経済効果がある」

という、効果検証を時系列でするつもりがあるか、伺います。

効果検証には時間がかかる

町長 NTTデータを主にお願いしているが、彼らは情報をいっぱい持っていますから、白子町に適したものを導入しています。検証には時間がかかります。1年ごとに検証できるものではありません。

最終結果は途中経過の検証なくして最良結果を期待できない

議員 検証には時間がかかる、で終わりにされては困ります。「外に頼んで一応やりましたが、結果は何も出ませんでした。これでは無責任甚だしい訳です。

効果確認がその場その場で出来るようなマネジメントを期待します。

交通安全指導について

梅澤 哲夫 議員

議員 町内における、道路標識の設置場所とその現状について把握されているのか。

カーブミラーが曇っていたり、道路標識が傾いているものが見受けられるが、定期的な確認は出来ないのか伺います。

気になる一時停止線

町長 道路標識は、道路の円滑な利用を図るためのものです。警察管理の規制標識・指示標識と、国・県・町が道路管理者の警戒標識と安全標識があります。

今一番問題なのは、一時停止表示が色あせていることで、国体・高校総体時に国や県に要望しましたが、改善されたものは極めて少ない状況です。

ドライバーの高齢化について

議員 ドライバーの高齢化に対する交通安全の適切な表示案内が出来ないか。一部のドライバーにおいて、駐車場への進入時にウインカーをつけずに進路変更する車を見受けられます。

町において対応出来ないか、また駐車場の管理者が注意掲示する事が可能か伺います。

日常生活に不便の無い様に

町長 高齢者に係る交通安全対策として、道路標識の高照度化、大型化して見やすいものにし、高齢ドライバーが、安全に安心して自動車運転ができる環境づくりが進められています。

事故防止、抑制として免許証の返納があります。公共交通機関の整備していない我が町で奨励すると日常生活に不便を期する事もあり、今後は、追突しない等の新しい機能自動車に期待しています。

通学路の立看板について

議員 子ども達の通学路において長年に渡って設置されたまま放置されたものが見受けられるが、これらの管理責任はどこなのか。

隣接町村に比べ、我が町においては、交通安全指導の掲示物が少ない様に思われるが、対応について伺います。

安全を誇れる町に

町長 注意看板が無い事が安全を誇れる町になると思っています。不具合な掲示物等見受けられたら、町に一報い

ただければ、早急に対処します。

登下校の見守りは

議員 毎日放送されている下校時の安全見守りについて、どう実践されているのか。ひと昔前であれば農作業中に目線の届く事も多かったと思いますが、最近それが減って来ています。

今の子どもの登下校時の安全通学のサポートはどうなっているのか伺います。

健幸ポイントと合わせて

町長 健幸ポイント制度の導入で積極的に歩く人が増え、不審者の出没がほとんど無くなったと言います。メリットが出て来た事。防災行政無線を利用した子ども達の声による毎日のお願ひ、北消防署にも出動の無い時には、下校時に消防車による巡回をしていただいています。

遠距離通学児には

議員 小学生においては、通学距離が4km近くある、遠距離通学をする子ども達があり、毎日重いランドセルを背負って1人でとぼとぼ帰る姿を目にします。

子ども達の登下校への配慮は出来ないか伺います。

今のところ考えてない

町長 遠方より登下校する子ども達へのスクールバスはと言う事ですが、今のところ考えていません。



事業実施からどのように変化 したのか介護保険

市川 隆子 議員

議員 介護保険制度は、介護の社会化をすすめるとしてスタートしました。

しかし、保険料や利用料が上がり、高齢者は、今は元気に暮らしていても、常に介護への不安を持ちながら生活しています。

介護保険実施から現在までのように状況が変化して来たのか伺います。

実情に応じて見直し

町長 3年を1期として事業計画の策定、見直しが義務づけられています。

第3期では、制度改正により新予防給付と地域支援事業が創設され、第5期には、町の高齢化率30%超えの状況で、地域密着型サービスとして複合型サービス施設が新設され、第6期には、地域包括ケアシステムの構築

に向けた、地域支援事業の充実と全国一律の予防給付、訪問介護と通所介護を市町村が取り組む仕組みに移行しています。

第7期基本方針は

議員 来年度から第7期介護保険事業がスタートしますが、事業計画の基本方針について伺います。

活動的な85歳を 目標として

町長 策定に当たり、千葉県介護保険事業計画と整合性を図りすすめて行きます。

活動的な85歳を目標として、可能な限り高齢者が住み慣れた地域で元氣な日常生活が送れるよう、また、介護保険の適正かつ円滑な運営を推進するため策定するものです。

第7期保険料の 見込みは

議員 介護保険制度では、高齢化率が高くなったり給付が増えれば保険料が上がりますが、保険料の推移と第7期保険料の見込みについて伺います。

保険料の上昇は 避けられない状況

町長 第1期の基準月額額は2333円、第2期2400円、第3期3300円、第4期3750円、第5期4200円、第6期5500円と、それぞれ増額となっています。

第7期保険料は、高齢化率の上昇に伴い、介護サービス利用者の増加が見込まれるなか、保険料の上昇は避けられない状況です。



国保広域化による 納付金算定方法等は

議員 国保広域化により、県・町とそれぞれの役割を担うこととなります。納付金の算定方法、保険料の算定方法について伺います。

医療水準・所得水準 考慮して

町長 納付金の算定方法は、県全体の保険給付費等から公費等による収入を控除して算出した保険料の必要額をもとに、医療水準や、所得水準を考慮して割り当てし、算出します。

保険料の算定方式は、県段階では市町村と比較可能な統一方式が採用され、市町村段階では町が採用している標準保険税率3方式で再度算出し示されることになっていきます。

国保税、子どもへの 免除・軽減は

議員 国保世帯は平均所得120万円以下となっ

ていますが、子どもが生まれると均等割が増え、低所得、多人数世帯ほど負担が重くなります。子どもに対する均等割の免除または軽減する考えはないか伺います。

実施する考えはない

町長 国保税の均等割は基礎部分を支える基本料金のものとなっています。国の制度でも、子どもの減免の制度はありませんので、現在のところ実施する考えはありません。

歯科健診実施状況は

議員 後期高齢者医療の歯科健康診査の実施状況について伺います。

今年度10名

町長 75歳になった方が対象で、平成28年度から実施されています。

昨年度はゼロ件、今年度は10月11日現在で10名、受診率5.3%となっています。

条例の制定・補正予算等に 対する質疑応答

白子町農業委員会の委員
及び農地利用最適化推進
委員の定数を定める条例
の制定について

議案第1号

【齋藤鉄也 議員】

議員 法改正により、農
業委員会に委員のほか、
農地利用最適化推進委員
が新設され、農業委員会
の特別職の定数は増加と
なりました。

これにより報酬の経費
も百万円程度増えると思
われますが、議員も身を
切って、定数削減に取り
組んできた中で、定数増
としたことについて、見
解を伺います。

町長 これからの農業委
員会は、農地活用も含め
農業を育てるといふ形が
主となります。

実質人数は増となりま
すが、遊休農地等の問題
に対し、農業委員会委員
と地域の状況を把握した
農地利用最適化推進委員
が連携し、経費を無駄に
しないよう懸命に努力を
してもらい、様々な農政
の問題解決に取り組む考
えております。

白子町ガス供給条例の一
部を改正する条例の制定
について

議案第3号

【市川隆子 議員】

議員 ガス事業は、老朽
施設の更新をしています
が、今後どの位の経費が
見込まれるのか。

また、現在の経営状況
の分析や今後の見直し等
示してもらわなければ納
得できない部分もありま
すので、見解を伺います。

町長 一番大きいのは、
老朽管の入替工事で予定
通り進んでいます。減
価償却費が生じて来ま
す。これが嵩んで来てい
ることも事実であり、ご
理解いただきたいと思
います。

地元の皆さんにも、な
るべくわかりやすい説明
はさせていただきたいと
思います。

【大和秀一 議員】

議員 今回のガス料金値
上げの要因は、経年管等
の入替による経費の増加
によるものであるとのこ
とですが、ここ数年、毎
年のように供給会社から
製品単価の値上げの要請
があると聞いています。
これらを踏まえて、今
後のガス事業の経営方向
について伺います。

町長 供給元である日本
天然ガスからの値上げ要
請は毎年ありますが、白
子町の売りとして、安全
なガスを安い値段で安定
供給する立場から、現状

での取引をお願いしてい
るところです。

しかしながら、ガス事
業全体の経営状況を試算
した結果、今回料金の値
上げをせざるを得なくな
りました。今後も経済情
勢や供給元の経営状態を
勘案しながら、価格の設
定をしていきますので、
流動的になることを理解
していただきたいと思います。

平成29年度白子町一般
計第4回歳入歳出補正予
算について

議案第4号

【宗島理仁 議員】

議員 食を通じた健康推
進業務によつて煮干しや
トマトを使った調味料を
開発しましたが、商品化
が難しいと聞いています。

難しいという結論を出
す前に、昨年度の調味料
の試作品のレシピをフ
リーレシピとして公開を
し、アイディアを募集す
べきです。

レシピを公表し、自由

に活用してもらおうとし
ないのか、理由を伺いま
す。

町長 作成段階で商品化
が難しいとの結論にな
り、レシピを公表するに
至っていません。

【齋藤鉄也 議員】

議員 地方創生推進交付
金について、これは地方
を活性化、豊かにする為
に、国民の血税を国が投
入したものです。

これを町長の指導の
下、知恵を絞り、次世代
の若者達の為に良いまち
づくり役に役立てていくこ
とを切に願っております
が、世の中は結果が全て
です。今後のまちづくり
に結果が出ない場合の見
解を伺います。

町長 地方創生に関し
て、国はやる気がある市
町村に金を出すという話
をしています。国がそ
の評価をどのようにする
のかということには疑問
を持っています。

しかし、私としても責任をもって地方創生の結果を出さなければいけないと感じており、失敗を恐れず挑戦していくことが私達の使命だと思っています。

【東海林東治 議員】

議員 補正予算に国庫負担金が国、県からありますが、白子町は障害者への様に具体的支援を進めているのか伺います。

健康福祉課長

サービス料が増加し、補正した訳です。自立支援について就業活動支援は、現在難かしい状況であります。

議員 現在の授産所で自立に繋がるか疑問であります。白子町特産物の規格外品の加工化、商品化促進に繋げての障害者自立支援の検討をされているか伺います。

町長 課題として色々ありますが、お金になる仕事でなくても、労働する

意味はあると思います。町の責任だけでなく、様々な協力が必要なことをご理解いただきたい。

議員

国、県もいかに自立支援に繋げるかに補助制度や補助金を出している訳ですので、町や社会福祉協議会等の協力で具体的な支援を求めます。

【大和多正之 議員】

議員 ソフトウェア使用料についてですが、今年度残り3カ月もない中で早急に要求する必要があるのか伺います。

教育課兼生涯学習課長

小中学校にリースで導入しているパソコンの、ソフトウェア部分のリースが切れてしまったことに伴う補正です。

議員

リース料の更新は本来であれば当初予算編成時に要求すべきものだと思います。このような状況で、計画的な運用が可能なのか伺います。

教育課兼生涯学習課長

エクセル・ワード等を導入していただかないと業務が停滞してしまうので、補正で組ませて頂きました。

教育長

ソフトウェアの使用料については当初予算に載せ忘れたということで、大変申し訳ございません。今後は計画的に運用して行きます。

防災講演会を開催しました

昨年12月10日に青少年センターにおいて、防災講演会を開催しました。当日は大勢の来場者が訪れ、「これからの防災・危機管理」をテーマに最新の調査・研究に基づく講演を熱心に受講しました。



（講演中の防災・危機管理アドバイザー）
山村 武彦 先生

編集後記

日本列島を震撼させた東日本大震災から間もなく7年。復興は未だ道半ばですが、地震を始め多くの自然災害に対して人は抗う事ができません。

昨年は、町民を対象に「これからの防災・危機管理」をテーマに防災講演会を開催致しました。災害はいつ発生するか分かりません。講演会を通じて、日頃から防災対策に取組む事の大切さをご理解いただけたのではないかと思います。

また、10月には議員研修として、福岡県朝倉市での豪雨水害による被災地の復興状況を視察しました。研修で学んだ事を今後の活動に活かして参ります。

一方で12月24日には、海岸津波対策工事を進めていた九十九里有料道路が全線開通しました。地域住民の安心と安全を守ると共に、地域産業の益々の発展に繋がることを願ってやみません。

北田 百人